

新型コロナウイルス緊急対策（3月8日～4月上旬） ～第3波の終息を目指すとともに、再拡大を阻止～ 【中間レビュー】（抜粋）

令和3年3月23日
岐阜県新型コロナウイルス感染症対策本部

本県の緊急事態宣言解除後、3月5日には県の「緊急対策」を決定しました。その後、新規感染者数、病床使用率とも減少傾向が継続しています。

しかし、完全に下がり切っておらず、第3波は終息していません。

こうした状況から、引き続き油断なく、「第3波の終息」を目指してさらに感染を抑え込み、「再拡大を阻止」する必要がありますので、以下を重点として「緊急対策」を進めてまいります。

なお、県内の感染状況等が悪化し、国の基準「ステージ3」相当となった場合などには、速やかに対策を見直します。

① 「変異株」スクリーニング検査の強化・徹底

② 予防的検査の拡大

- ・ 岐阜市の高齢者施設の従事者を対象に実施中。今後、地域・対象施設を拡大し、ワクチンがいきわたるまでの間、集中して実施。
- ・ 可児市の外国人パブ等に対する検査についても、今後地域を拡大。

③ ワクチン接種の着実な推進

- ・ 医療従事者に続き、今後高齢者の優先接種を順次開始。

④ 年度末、年度始めの飲食を伴う行事の注意喚起

- ・ 感染リスクの高い歓送迎会、花見の宴会、飲食を伴う謝恩会及びこれに類するものについては徹底回避。